

令和4年度

# 決算説明資料

1 福祉局決算総括表(一般会計・特別会計)	P. 1
2 重要施策の概要	P. 7
3 款項目別説明資料	
(1) 一般会計(議案第162号)	P. 35
(2) 介護保険事業特別会計(議案第165号)	P. 66
(参考)負担金、補助及び交付金の支出状況	P. 79

福祉局

# 1 福祉局決算総括表（一般会計・特別会計）

## (1) 一般会計

### ○歳入

予算科目	予算現額				調定額 (B)
	当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越財源 充当額	計 (A)	
17款 分担金及び 負担金	136,811	-	-	136,811	138,992
18款 使用料及び 手数料	19,463	-	-	19,463	19,066
19款 国庫支出金	80,635,562	17,504,856	20,207,521	118,347,939	112,516,784
20款 県支出金	11,152,698	344,575	264,428	11,761,701	10,801,086
21款 財産収入	319,710	-	-	319,710	693,514
22款 寄附金	8,060	-	-	8,060	21,556
23款 繰入金	367,911	-	-	367,911	8,264
25款 諸収入	1,334,475	14,019	-	1,348,494	4,568,632
26款 市債	985,333	32,000	86,000	1,103,333	571,000
計	94,960,023	17,895,450	20,557,949	133,413,422	129,338,894

(単位：千円、%) △印減

収入済額 (C)	不納 欠損額 (D)	収入 未済額 (B)-(C)-(D)	翌年度 繰越額 (E)	差引過不足額 (C)+(E)-(A)	執行率 ((C)+(E))/(A)
136,937	259	1,796	-	126	100.1
19,066	-	-	-	△397	98.0
112,461,116	-	55,668	105,979	△5,780,844	95.1
10,801,086	-	-	127,408	△833,207	92.9
693,514	-	-	-	373,804	216.9
21,556	-	-	-	13,496	267.4
8,264	-	-	-	△359,647	2.2
1,342,650	231,191	2,994,791	-	△5,844	99.6
571,000	-	-	480,000	△52,333	95.3
126,055,189	231,450	3,052,255	713,387	△6,644,846	95.0

## ○歳出

予算科目	予算現額			
	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越額	予備費補充及び流用増減
4 款 保健福祉費	156,692,809	20,968,949	20,604,017	-
1 項 社会福祉費	4,306,213	15,791,493	20,146,284	-
3 項 高齢福祉費	26,122,772	2,319,611	421,610	-
4 項 障がい福祉費	45,261,669	2,472,014	36,123	-
5 項 生活保護費	80,977,974	385,831	-	-
6 項 災害救助費	24,181	-	-	-
計	156,692,809	20,968,949	20,604,017	-

(単位：千円、%) △印減

	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
計 (A)	(B)	(C)	(A)-(B)-(C)	((B)+(C))/(A)
198,265,775	188,442,733	887,830	8,935,212	95.5
40,243,990	34,400,784	33,244	5,809,962	85.6
28,863,993	27,756,846	287,651	819,496	97.2
47,769,806	46,879,150	566,935	323,721	99.3
81,363,805	79,394,103	-	1,969,702	97.6
24,181	11,850	-	12,331	49.0
198,265,775	188,442,733	887,830	8,935,212	95.5

## (2)介護保険事業特別会計

### ○歳入

予算科目	予算現額				調定額 (B)
	当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越財源充当額	計(A)	
介護保険事業 特別会計 《福祉局所管分》	117,369,287	834,024	-	118,203,311	118,583,095

【参考】介護特会全体      117,424,387      834,024      -      118,258,411      118,628,297

### ○歳出

予算科目	予算現額			
	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越額	予備費補充及び流用増減
介護保険事業 特別会計 《福祉局所管分》	117,369,287	834,024	-	-

【参考】介護特会全体      117,424,387      834,024      -      -

(単位：千円、%) △印減

収入済額 (C)	不納欠損額 (D)	収入未済額 (B)-(C)-(D)	翌年度繰越額 (E)	差引過不足額 (C)+(E)-(A)	執行率 ((C)+(E))/(A)
117,561,256	223,727	798,112	-	△642,055	99.5
117,606,458	223,727	798,112	-	△651,953	99.4

(単位：千円、%) △印減

	支出済額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A)-(B)-(C)	執行率 ((B)+(C))/(A)
計(A)				
118,203,311	116,494,731	-	1,708,580	98.6
118,258,411	116,539,933	-	1,718,478	98.5

## 2 重要施策の概要

福岡市基本構想

第9次福岡市基本計画

実施計画（政策推進プラン）

### 分野別目標と施策 8つの分野別目標ごとに施策体系を整理

#### 目標1 一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている

##### 施策1-1 ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり

- 1 ユニバーサル都市・福岡の推進

##### 施策1-2 すべての人の人権が尊重されるまちづくりと男女共同参画の推進

- 1 人権尊重のまちづくり

##### 施策1-3 一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり

- 1 ライフステージに応じた健康づくり
- 2 生涯現役社会づくり
- 3 健康先進都市づくり

##### 施策1-6 すべての人が安心して暮らせる福祉の充実

- 1 地域包括ケアの推進
- 2 障がい者の自立と社会参加の支援
- 3 生活の安定の確保など

#### 目標2 さまざまな支え合いとつながりができている

##### 施策2-3 支え合いや助け合いによる地域福祉の推進

- 1 見守り・支え合いの仕組みづくり

目標3 安全・安心で良好な生活環境が確保されている

目標4 人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている

目標5 磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている

目標6 経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている

目標7 創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している

目標8 国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている



令和4年度決算額  
(前年度決算額)

463,263 千円  
( 448,660 千円)

施策1-1 ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり

1 ユニバーサル都市・福岡の推進

463,263 千円  
( 448,660 千円)

「福岡市福祉のまちづくり条例」等に基づき、多くの人々が利用する建築物や旅客施設、道路、公園等の新設や改修等に際しては、全ての人に安全で利用しやすいものとなるよう、継続してバリアフリー化を図るとともに、ハード・ソフト一体の取組みによる総合的なバリアフリー化を推進した。

また、高齢者や障がいのある人の自立を促進し、介護者の負担軽減を図るため、住まいのバリアフリー化に必要な住宅改修費用の助成を行った。

さらに、外出しやすい環境づくりのため、引き続き、市内全域において外出を支えるベンチの設置を促進した。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	令和4年度の成果、効果等
ベンチプロジェクト	3,221	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内全域においてベンチの設置を促進</li> <li>○バス停付近等の市有地へのベンチ設置と民有地に設置されるベンチへの購入費を補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道路下水道局等により歩道上の設置可能なバス停343箇所すべてにベンチの設置が完了</li> <li>○民有地に設置されるベンチへの購入費補助を実施</li> </ul> <p>【ベンチ設置状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市有地：345箇所（347基）</li> <li>・民有地：8箇所（9基）</li> </ul> <p>参考（ベンチ設置数累計）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市有地：484箇所（559基）</li> <li>・民有地：43箇所（57基）</li> </ul> <p>※「市有地」は地域が設置した補助金活用ベンチ含む（令和3年度のみ該当あり）</p>
バリアフリーのまちづくり推進経費	6,508	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旅客施設や道路などの施設のバリアフリー化を進めるとともに、「心のバリアフリー」に関する出前講座や、子ども向けバリアフリー講座などを実施し、ハード・ソフト両面からバリアフリー化を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「福岡市バリアフリー基本計画」及び「福岡市福祉のまちづくり条例」に基づき、バリアフリー化を推進</li> <li>○広報誌「心のバリアフリー」を全戸配布</li> </ul>
高齢者住宅改修助成事業	13,189	<ul style="list-style-type: none"> <li>○要介護者等のいる世帯に対し、住宅を改修する際の費用の一部を助成（介護保険の住宅改修費の給付対象となるものを除く）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○助成件数 128件</li> </ul>

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	令和4年度の成果、効果等
障がい者住宅改造相談助成事業	22,226	○重度の身体障がい児・者のいる世帯に対し、住宅を改造する際の相談や情報提供を行うとともに、費用の一部を助成（介護保険の住宅改修費の給付対象となるものを除く）	○相談件数 370件 ○助成件数 56件
住宅改造相談事業 【介護保険事業特別会計】	33,399	○住宅改造に関する各種相談業務及び住宅改造助成制度を利用する場合の完了検査等を実施	○延べ相談件数 1,493件
住宅改修等費 【介護保険事業特別会計】	384,720	○介護保険法に基づく、要介護者等への、手すりの取り付けや段差解消等の住宅改修等費の支給	○月平均給付実績 416件

**施策 1 - 2 すべての人の人権が尊重されるまちづくりと  
男女共同参画の推進**

**令和4年度決算額  
(前年度決算額)**

**13,560 千円  
( 16,043 千円)**

**1 人権尊重のまちづくり**

**13,560 千円  
( 16,043 千円)**

「福岡市障がい者差別解消条例」の趣旨を踏まえ、市民が障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障がいを理由とする差別の解消を推進した。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	令和4年度の成果、効果等
障がい者差別解消条例 施行関連経費	13,560	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成31年1月、「福岡市障がい者差別解消条例」を施行</li> <li>○差別に関する相談窓口を設置するとともに、条例の考え方を周知する啓発動画やパンフレットを作成するなど、広報・啓発を実施</li> <li>○条例に基づき、障がいを理由とする差別に関する相談対応を実施</li> <li>○条例に基づき、附属機関を運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○障がい者差別解消条例の改正について検討</li> <li>○差別に関する広報・啓発を実施</li> <li>○条例に基づき、障がいを理由とする差別に関する相談対応、附属機関の運営等を実施</li> </ul>

施策 1-3 一人ひとりが健康で、  
生涯元気に活躍できる社会づくり

令和4年度決算額  
(前年度決算額)

3,402,351 千円  
( 3,451,458 千円 )

1 ライフステージに応じた健康づくり

574,247 千円  
( 562,111 千円 )

コロナ禍において高齢者が家に閉じこもりがちになる中、心身の機能が低下する「フレイル<sup>※1</sup>」を予防するため、ハイリスク状態にある高齢者を専門職が訪問し、必要な支援につなぐなど、フレイル対策の強化に取り組んだ。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	令和4年度の成果、効果等
介護予防事業 【介護保険事業特別会計】	556,196	<p>○いきいきセンターふくおかにモデル的に配置していた介護予防専任職員を、平成30年度より生活支援・介護予防推進員として、28センターに配置。以降、順次配置を拡大し、令和3年度、全57センターへの配置完了</p> <p>○介護予防教室や認知症予防教室、生き生き講座等を実施するとともに、介護予防に資する生活習慣等の普及啓発リーフレットや、いきいきセンターのチラシを送付するなど介護予防の啓発を実施</p>	<p>○地域特性に応じた介護予防・健康づくり等の普及啓発、社会資源の開発・ネットワークづくりを推進</p> <p>○フレイル予防・介護予防の取組みを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防教室 開催数 290回 参加者数(延) 2,039人</li> <li>・認知症予防教室 開催数 132回 参加者数(延) 1,495人</li> <li>・生き生き講座 開催数 1,213回 参加者数(延) 19,018人</li> </ul>
★ フレイル予防ハイリスク者 支援事業 【介護保険事業特別会計】	18,051	【新規】	<p>○健診・医療・介護データを活用してフレイルのハイリスク者を抽出し、専門職の訪問により必要な支援を実施</p> <p>【実績】 状況把握 763人 (78.9% 対象者967人中)</p> <p>〔内訳〕 フレイル :63人 (8.3%) プレフレイル :210人 (27.5%) 健常 :401人 (52.6%) その他 :89人 (11.7%)</p>

※1 フレイル：加齢とともに、心身の活力が低下し、「健康」と「要介護」の中間の状態にあること

令和4年度決算額  
(前年度決算額)

2,684,517 千円  
( 2,710,629 千円 )

## 2 生涯現役社会づくり

健康でいきいきとした豊かなシニアライフを実現するため、高齢者が趣味・教養、文化、スポーツ活動のみならず、豊かな経験、知識、能力を活かして活躍できるよう、ボランティア活動等への参加を支援するとともに、働きたい高齢者の就業支援・企業の雇用促進に向けた取組みを推進した。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	令和4年度の成果、効果等
シルバー人材センター	81,237	○高齢者に臨時的、短期的な仕事を提供する福岡市シルバー人材センターを人的・財政的に支援	○会員数 6,665人 ○事業実績(請負・委託・派遣) ・契約件数 14,954件 ・契約金額 2,440,919千円 ・就業延人数 501,562人
老人福祉センター	340,914	○各区に老人福祉センターを設置し運営。また、「健康づくり」機能及び「就業支援による生きがいづくり」機能を強化	○年間延利用者数 110,945人 ○開園日数(7園平均) 298日 ※一部の講座等は、人数制限などの感染症対策を講じた上で実施
一般会計	321,931		
介護保険事業特別会計	18,983		
老人クラブ活動費助成等	122,861	○友愛訪問への支援や、グラウンドゴルフ大会等の各種事業を実施	○友愛訪問 ・班数 616班 ・訪問員数 3,184人 ○グラウンド・ゴルフ大会 ・参加者数 1,803人
一般会計	119,636		
介護保険事業特別会計	3,225		
高齢者乗車券交付事業	1,650,208	○地下鉄・バス・電車・タクシー等の公共交通機関の乗車料金の助成を実施  ○令和3年度から、ICカードにオンラインでポイントを付与し、地下鉄券売機等でチャージする方法を導入	○郵送・オンライン申請、郵送交付を行うとともに、ICカードにオンラインでポイントを付与し、地下鉄券売機などでのチャージを継続 ・交付者数 153,163人  ○券種に曲淵線乗合タクシー回数乗車券を追加

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	令和4年度の成果、効果等
<b>買い物等の生活支援推進事業</b> 【介護保険事業特別会計】	17,239	○買い物支援推進員を設置し、企業、事業所等の多様な主体が参加する、地域の支え合いによる買い物支援の取組みを推進	○買い物支援推進員による、企業、事業所等と地域のマッチングを行い、買い物先への送迎や移動販売など、地域の支え合いによる多様な買い物支援を実施 ・市と共に買い物支援に取り組む地域団体数 13団体（累計）
<b>介護支援ボランティア事業</b> 【介護保険事業特別会計】	10,768	○介護保険施設等においてボランティア活動を行った際に、後日換金できるポイントを付与し、その活動を支援	○活動状況（令和4年1～12月） ・実活動者数 254人 ・延活動者数 6,540人 ○登録施設数 513施設
<b>シニア活躍応援プロジェクト</b>	19,670	○官民連携のプロジェクト会議を設置し、高齢者の就業支援の方策を検討  ○働きたい高齢者と企業の多様な雇用をマッチングする仕組みや環境をつくり、高齢者の就業を応援	<b>【高齢者向け】</b> ○セミナー、相談会等を開催 ・187回、1,541人 ○シニアお仕事ステーションを通じた情報発信等の支援を実施 ・市内14か所  <b>【企業向け】</b> ○個別訪問による求人開拓 ・求人受理 501人 ○職場環境整備のためのコンサルティング ・実施企業 4社 ○シニア・ハローワークふくおかと連携した就業支援を展開しマッチングを強化
<b>よかトレ実践ステーションの創出・継続支援</b> 【介護保険事業特別会計】	4,322	○自主的に介護予防に取り組む高齢者グループの創出を支援し、よかトレ実践ステーションとして認定し、介護予防のツール提供や団体間の交流会、サポーター養成等を実施  ○よかトレ実践ステーションへ理学療法士や健康運動指導士等の専門職を派遣し、活動の継続を支援	○よかトレ実践ステーション創出数 ・858か所（累計）

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	令和4年度の成果、効果等
☆ オンラインフレイル予防 プログラム 【介護保険事業特別会計】	9,433	○ICTツールを活用した非対面交流 やオンラインの体験型講座を実施し、 継続的な交流やオンラインコミュニ ティの創出等、介護予防の取組みを強 化	○ICTツールを活用し、運動、社会 参加等の講座を実施 ・対面講座 実施回数 14回 参加人数 133人 ・オンライン講座 実施回数 36回 参加人数(延) 1,009人
★ 要介護状態改善等評価事業	4,690	【新規】	○要介護度やADL等の改善・維持 に取り組むチーム（介護サービス事 業所、利用者）を評価し、その取組 みに対して表彰等を実施 ・参加者 37チーム
★ 重度化防止啓発事業 【介護保険事業特別会計】	3,170	【新規】	○市民を対象とした自立支援・重度 化防止を啓発する講演会を実施 ・開催数 1回 ・参加者 206人
生活支援体制整備事業 【介護保険事業特別会計】	215,731	○生活支援コーディネーターの配置を 推進（令和3年度全圏域配置完了） ○高齢者に対する生活支援サービ スを行うボランティア団体の継続や創出 を図るための研修会等を開催すると ともに、企業等の多様な主体の参画を 図るため、コーディネート手法の整理 やセミナーの開催を実施	○地域特性に応じた介護予防・生 活支援等の普及啓発、社会資源の 開発・ネットワークづくりを推進 ○高齢者に対する生活支援ボラン ティア団体の継続や創出を図るため、 研修会を開催
その他の経費 ・老人いこいの家整備 ・老人いこいの家運営 ・福祉バス ・アラカンフェスタ実行委員会 経費 ・全国健康福祉祭参加費 助成 ・その他事業費	127,414 33,672 18,305 9,000 8,786 7,097		

令和4年度決算額  
(前年度決算額)

143,587 千円  
( 178,718 千円)

### 3 健康先進都市づくり

人生100年時代を見据え、誰もが心身ともに健康で自分らしく暮らせる持続可能な社会を目指し、産学官民オール福岡で取り組むプロジェクト「福岡100」を推進した。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	令和4年度の成果、効果等
☆ 健康先進都市推進経費	38,504	<p>○「健康寿命延伸」や「超高齢社会」を市民が自分ごと化して動き出すきっかけに繋がる取組みや情報発信により福岡100プロジェクトを推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくりに関する産学官民による共働の場「福岡ヘルス・ラボ」</li> <li>・現場の課題とスタートアップ企業のアイデアを結びつけ解決を図る「ケア・テック・ベンチャー支援」</li> <li>・福岡100行政課題解決事業（福岡100×mirai@）</li> <li>・産学官民一体となった福岡100の機運醸成を進める「福岡100PARTNERS事業」など</li> </ul>	<p>○保健福祉総合計画における「支え合う福祉の充実」などの新たな視点を追加し、「福岡100」のコンセプトを更新（アップデート）</p> <p>○「福岡100ラボ」 事業者の新たな発想・手法による提案に基づいた共同事業を実施し、社会実装を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採択事業件数 4件</li> </ul> <p>○「福岡100PARTNERS事業」 WEBサイトによる登録事業者の活動PR、登録事業者向け意見交換会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連携事業実施件数 4件</li> </ul>
☆ Fitness City プロジェクト	11,738	<p>○有識者意見を踏まえ、ハード整備による仕組みづくりとソフト施策による仕掛けづくりの両面から、市民の身体活動量の増加へアプローチする取組みを検討</p>	<p>○都心部である博多駅周辺をパイロットエリアとし、公園や駅、道路などの身近な環境を活用した、自然と楽しく体を動かす仕掛けづくり等に取り組んだ</p>



事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	令和4年度の成果、効果等
地域包括ケア情報プラットフォーム <sup>※2</sup> 構築事業	81,905	<p>○市民の住民情報や健診情報、医療・介護などのビッグデータを集約</p> <p>○集約したデータを基にした職員向けデータ分析システム、医療・介護関係者間の情報共有ツールを構築・運用し、利用者ニーズを踏まえた機能拡充や研修・説明会を行う等、定着・拡大に向けた取組みを実施</p> <p>○九州大学と連携した研修を実施</p> <p>○九州大学等と連携したデータ分析を実施。令和3年度は、市民の要介護危険因子を分析・公表</p>	<p>○九州大学と連携し、COVID-19感染拡大が市民の健康行動に与えた影響の分析を実施</p> <p>○在宅連携支援システムについては、参加事業所数、支援対象者の登録数は引続き増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約570事業所</li> <li>・高齢者 約49,000人</li> </ul> <p>(令和5年7月現在)</p>
アプリを活用した健康行動促進事業	6,703	<p>○市民の健康づくりや社会参加活動を後押しする仕組みを検討</p>	<p>○スマートフォンアプリ「ふくおか散歩」を活用し、健康情報などの発信やアプリを使ったイベント等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数 126回</li> </ul>
AIを活用した「ケアプラン作成支援システム」構築事業	55	<p>○民間データ（ケアプラン）の収集を行うとともに、システム開発する事業者と協定を締結</p>	<p>○令和5年度中の製品化に向け、システム開発を実施</p>
★エビデンス <sup>※3</sup> に基づいた市民の健康づくり促進事業	3,292	【新規】	<p>○咀嚼力が介護予防に役立つという分析結果に基づき、咀嚼を意識した認知症予防をテーマとする料理教室などを実施</p>
その他の経費 ・効果的な保健福祉施策の推進に係る調査経費	1,390		

※2 プラットフォーム：共通の土台（基盤）となる環境

（今回は、市が保有する健診・医療等のデータを集約・活用する情報通信基盤）

※3 エビデンス：データ分析や研究を基にした科学的根拠、裏付け

施策1-6 すべての人が安心して暮らせる福祉の充実

300,164,628千円  
(268,734,663千円)

1 地域包括ケアの推進

138,829,987千円  
(133,039,908千円)

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活することができる「地域包括ケア」の実現に向け、引き続き特別養護老人ホームや地域密着型サービスの整備、福祉・介護人材の確保、医療と介護の連携等を推進した。

また、認知症の人が認知症とともに住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるよう、「認知症フレンドリーシティ・プロジェクト」を推進し、認知症の人や家族への支援、認知症に関する啓発、認知症との共生に向けた施策等に取り組んだ。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	令和4年度の成果、効果等
地域包括ケアの推進	1,687,350	<p>○「地域包括ケア」の実現を目指し、介護保険事業計画や関係機関・団体と作成した地域包括ケアアクションプランに基づき、取組みを推進</p> <p>○平成27年度より、地域や全市レベルなど各階層において、専門職や地域の関係者などが地域課題を把握し、その解決に向けた検討を行う「地域ケア会議」を設置。また、自立支援型地域ケア会議を平成30年度より試行し、令和3年度より本格実施</p> <p>○平成18年度から介護保険法による、高齢者に関する健康や福祉、介護に関する相談窓口「いきいきセンターふくおか」を開設。高齢者人口の増加に伴い、順次体制を強化 ・平成27年度から新たに土曜日も開所し、センターで電話・来所による相談を受付 ・令和3年度 設置数 57か所、職員数 207人</p>	<p>○分野横断的取組みとして、複合課題への対応研修パッケージの開発や、自分で決める人生ガイドの配布による早期からの意思表示・意思決定の啓発を実施</p> <p>・専門職向け地域包括ケア講座 動画配信 403人</p> <p>・働き盛り世代向け講座 企業向け 9回 動画視聴(延) 1,428回</p> <p>・終活応援セミナー 動画視聴(延) 1,519回 対面講座(1回) 76人</p> <p>○高齢者への適切な支援等を検討する地域ケア会議(5階層)を開催 ・753回</p> <p>○いきいきセンターふくおかについて、高齢者人口に応じた職員を配置 ・設置数 57か所、職員数 209人</p>
一般会計	4,330		
介護保険事業特別会計	1,683,020		
働く人の介護サポートセンター事業	8,601	<p>○平日の仕事帰りや休日にも対応する相談窓口を設置。また、市内の企業への出張相談も実施</p>	<p>○開設日数 198日 ○相談件数 202件 (平日の5時以降と日曜日の利用が約4割)</p>

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	令和4年度の成果、効果等
介護施設整備費助成	589,479	○特別養護老人ホームや地域密着型サービスを整備	○施設整備（現年度） ・(看護)小規模多機能型居宅介護 … 3 事業所（94,140千円） ・認知症高齢者グループホーム … 1 事業所（26,880千円） ○施設整備（繰越） ・特別養護老人ホーム（増床） … 1 事業所（38,885千円） ・地域密着型特別養護老人ホーム … 1 事業所（170,520千円） ・小規模多機能型居宅介護 … 1 事業所（32,724千円） ・認知症高齢者グループホーム … 2 事業所（55,104千円） ○開設準備 ・地域密着型特別養護老人ホーム … 1 事業所（21,932千円） ・(看護)小規模多機能型居宅介護 … 4 事業所（20,929千円） ・認知症高齢者グループホーム … 4 事業所（45,410千円） ・地域密着型特定施設入居者生活介護 … 1 事業所（19,459千円） ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護 … 5 事業所（55,269千円）
居宅介護サービス等費 【介護保険事業特別会計】	47,427,896	○介護保険法に基づき実施 ・訪問介護 ・通所介護 等	○月平均利用実績 105,678件
地域密着型 介護サービス等費 【介護保険事業特別会計】	17,764,765	○介護保険法に基づき実施 ・小規模多機能型居宅介護 ・認知症対応型共同生活介護 等	○月平均利用実績 9,121件
介護予防・生活支援 サービス事業費 【介護保険事業特別会計】	3,895,253	○介護保険法に基づき実施 ・訪問サービス ・通所サービス 等	○月平均利用実績 19,582人

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	令和4年度の成果、効果等
☆ 成年後見制度の利用 支援	55,256	<p>○認知症高齢者等が成年後見等による支援を受けられるように市長申立による支援を実施</p> <p>○中核機関として成年後見推進センターを令和3年10月に設置</p> <p>○市民後見人養成事業を実施</p> <p>○実践的なフォローアップ研修を実施</p>	<p>○成年後見制度の市長申立支援 ・市長申立 高齢者 65件 障がい者 8件</p> <p>○一定の基準に該当する市長申立による後見人等の報酬を助成していた事業を本人や親族の申立においても報酬の助成ができるよう対象者を拡大 ・報酬助成 高齢者 92件 障がい者 23件</p> <p>○中核機関である成年後見推進センターにて制度の利用促進 ・相談実績 696件 ・受任者調整会議による審議 83件 ・ケース検討会議による審議 11件 ・弁護士等によるアウトリーチ支援 8件</p> <p>○権利擁護支援を必要とする人に対し法律・福祉の専門職や関係機関が必要な支援を実施できるよう中核機関を拠点としたネットワークを設置</p> <p>○市民後見人の養成 ・単独受任の開始 3人 ・フォローアップ研修受講者 30人</p>
一般会計	39,882		
介護保険事業特別会計	15,374		
★ 高齢者福祉避難所 運営体制強化事業	959	【新規】	○福祉避難所の開設が見込まれる高齢者施設に対して、災害時に特に配慮を要する人の避難生活に必要な物資を配付
外国人介護人材受入 支援事業	8,942	○外国人介護人材の受入に関心がある事業者や関係団体等が集まり知見を共有する場（＝プラットフォーム）づくりや、ミャンマーへのミッション団の相互派遣、日本語学習支援、外国人介護人材と地域住民との草の根交流を実施	<p>○外国人介護人材受入プラットフォームセミナーを実施 ・2回、26事業所参加</p> <p>○外国人留学生と介護施設とのマッチング ・11組</p> <p>○日本語学習支援を実施 ・全3コース、延べ43人参加</p> <p>○草の根交流プログラムを実施 ・3回、延べ60人参加</p>

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	令和4年度の成果、効果等
福祉人材確保事業	28,994	<p>○令和元年度から介護人材の確保・定着のための取組みを強化し、「参入促進」、「労働環境・処遇改善」、「資質の向上」の施策体系ごとに、次の事業を効果的に実施</p> <p>・介護の経営力強化研修、介護ロボット・IoT導入支援、現場スタッフの対話の場づくりで、働く人の満足度を上げる職場づくりをサポート</p> <p>・業界一体でさらなる新規人材参入策を検討するとともに、福祉介護の魅力効果を効果的に発信</p>	<p>○介護事業所の経営力強化研修を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3回コース×各3回、発表会1回</li> <li>・24人参加</li> </ul> <p>○介護ロボット・IoT導入促進事業として、ロボットエキスパート養成講座およびトライアル貸出しを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座 全5回、12人参加</li> <li>・貸出し 6事業所参加</li> </ul> <p>○現場スタッフの対話の場づくりセミナーを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2コース×3回、発表会1回</li> <li>・12人参加</li> </ul> <p>○訪問介護事業所の人材確保セミナーを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2回、21人参加</li> </ul> <p>○介護事務効率化支援事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8事業所参加</li> </ul> <p>○福祉人材共働ワーキングにおいて介護の魅力発信について検討、実施</p> <p>○介護の魅力を発信するイベント「ふくおかカイゴつながるプロジェクト」を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1,650人来場</li> </ul>
認知症本人のピアサポート※4 活動支援事業	134	<p>○生活に不安を感じている認知症診断直後の方へ、同じ立場にあるサポーターによる相談支援等を実施</p>	<p>○認知症本人が当事者の暮らしを支える担い手として活動できるような支援を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本人ミーティング 5回</li> <li>・本人の声を共有する場 12回</li> </ul>
認知症初期集中支援 推進事業 【介護保険事業特別会計】	52,405	<p>○認知症初期集中支援チームを7チームに拡大し、認知症の人が早期に適切な医療・介護につながるよう取り組む</p>	<p>○認知症サポートチームを7チーム配置し、認知症の医療体制やいきいきセンターふくおかとの連携により、早期診断・早期対応の体制づくりを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援人数(実) 140件</li> <li>・訪問件数(回) 992回</li> </ul>
認知症カフェ設置促進 事業 【介護保険事業特別会計】	996	<p>○認知症カフェの開設を支援</p>	<p>○認知症カフェ設置促進のため補助金の交付を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェ開設数 41か所</li> </ul> <p>○認知症の人や家族の身近な相談役として認知症ライフサポートワーカーを養成</p>

※4 ピアサポート：当事者が自身の経験を踏まえ、同じ立場にある人の相談や交流を実施し支え合うこと

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	令和4年度の成果、効果等
認知症の人の見守りネットワーク事業 【介護保険事業特別会計】	2,758	<p>○警察や地域などの協力のもと、認知症の人の登録制度、検索システムの利用助成等を実施</p> <p>○行方不明になった認知症の人の早期発見・保護につなげるメール配信事業を都市圏自治体と連携して実施</p> <p>○位置検索可能な機器やサービスを使用した見守りの周知理解を促進</p>	<p>○登録制度、検索システムの利用助成等を実施 ・登録者数 987人</p> <p>○メール配信事業を都市圏自治体と連携して実施 ・メール対象者 803人 ・協力サポーター 8,302人</p> <p>○行方不明になった認知症の人の検索を助けるサービス等の情報をホームページで募集し、情報を提供</p>
☆ 認知症施策推進事業	36,457	<p>○「ユマニチュード®<sup>※5</sup>」の普及促進 家族介護者や専門職向けの実践講座を行うとともに、福岡市が独自に養成した講師による地域の方々や児童生徒向けの入門講座を実施</p> <p>○認知症の人にもやさしいデザイン 令和元年度に策定した「認知症の人にもやさしいデザインの手引き」に基づくデザインの普及を促進</p> <p>○認知症の早期発見 認知機能の簡易検査ができるタブレットを活用し、認知症の早期発見と認知症予防の啓発を実施</p>	<p>○ユマニチュード講座を実施 ・実施回数 45回 ・受講者数 1,561人</p> <p>○ユマニチュード講座の対象を企業に拡大し、企業への普及啓発を開始</p> <p>○認知症の人にもやさしいデザインの普及促進に取り組み、市有施設及び民間施設でデザインを導入（一部導入を含む） ・市有施設 45か所 ・民間施設 4か所 （令和4年度末時点）</p> <p>○健康イベントなどにおいてタブレットを使用した認知機能の簡易検査を実施 ・実施回数 7回 ・実施者数 123人</p>
福岡オレンジパートナーズ推進事業	3,505	<p>○企業が認知症を正しく理解するための勉強会を実施</p>	<p>○認知症に関する企業向けセミナー（NEXTミーティング）を実施 ・実施回数 6回 ・参加企業団体数 91社・2団体</p>
認知症社会参加推進事業（オレンジアクティブ） 【介護保険事業特別会計】	792	<p>○認知症の人が活躍する場であるオレンジアクティブを開設</p>	<p>○就労状況 ・宮協書店 1人 （月1回：本の整理・補充等） ・カレー屋もりぞう 1人 （週4回：食器洗い等）</p>

※5 ユマニチュード®：「見る」「話す」「触れる」「立つ」という4つの柱を基本とした、知覚・感情・言語による包括的コミュニケーションに基づいたケアの技法

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	令和4年度の成果、効果等
新型コロナウイルス感染症対策（高齢）	2,215,864	<p>○高齢者施設等において新型コロナウイルス感染者の介護等を行った従事者に対する支援を実施（感染者1人あたり15万円）</p> <p>○介護者が感染し入院した場合等に、自宅に残された要介護の濃厚接触者等の介護を行った事業者の従事者に対する支援を実施（要介護者1人あたり15万円）</p> <p>○高齢者施設等の従事者・新規入所者に対し無料で検査を実施</p>	<p>○支援実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申請数 5,173人分</li> <li>・支給金額 621,770千円</li> </ul> <p>○支援実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申請数 498人分</li> <li>・支給金額 37,840千円</li> </ul> <p>○検査実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検査実施施設数 1,689施設</li> <li>・延べ検査件数 1,485,748件</li> </ul>
物価高騰対策支援金	1,210,072	【新規】	<p>○光熱費や食材料費等の高騰に伴うコスト上昇の影響を受ける介護施設等に対して支援を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者施設・事業所 申請施設・事業所数 2,311 支給金額 1,058,720千円</li> <li>・障がい者施設・事業所 申請施設・事業所数 728 支給金額 128,170千円</li> <li>・保護施設等 申請施設数 2 支給実績額 2,052千円</li> </ul>
<b>その他の経費</b> <b>【一般会計】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・繰出金（介護特会） 19,131,901</li> <li>・老人保護措置費 769,510</li> <li>・軽費老人ホーム運営費助成 619,406</li> <li>・高齢者施設等改修・設備整備事業 125,357</li> <li>・旧市立デイサービスセンター貸付 6,301</li> <li>・その他事業費 219,144</li> </ul> <b>【介護保険事業特別会計】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護サービス等給付費 38,795,372</li> <li>・要介護認定費 1,024,101</li> <li>・要介護認定事務センター運営 410,621</li> <li>・その他事業費 2,737,796</li> </ul>			

## 2 障がい者の自立と社会参加の支援

45,953,363 千円  
( 42,191,851 千円)

「親なき後」の生活を見据え、障がいのある人が自らの能力を最大限に発揮し地域や家庭で安心していきいきと暮らせる社会を目指し、グループホームの開設に係る設置費補助や重度障がい者受け入れ促進のための運営費補助の拡充など、地域における障がい者の居住の場を充実させるとともに、区役所にタブレットを設置し、オンラインでの手話対応を行うなど窓口サービスの向上に取り組んだ。また、発達障がい者支援と障がい者就労支援を一体的に行う施設の整備を進めるとともに、障がい者の工賃向上を図るため、企業への業務開拓や各施設への受注支援等を行うセンターを新たに設置した。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	令和4年度の成果、効果等
障がい福祉サービス (在宅)	9,157,055	○ホームヘルプ ・訪問介護員による身体介護・家事援助等を実施 ○短期入所 ・介護者が一時的に介護できない場合に、宿泊を伴った援助を実施 ○行動援護 ・行動に著しく困難を有し常時介護を要する知的・精神障がい児・者が外出する際に、必要な援助を実施 ○同行援護 ・視覚障がいのため移動に著しい困難を有する障がい児・者が外出する際に、必要な援助を実施	○ホームヘルプ ・利用者数 3,637人 ・利用実績 延 1,600,363時間 ○短期入所 ・利用者数 927人 ・利用実績 延 70,457日 ○行動援護 ・利用者数 85人 ・利用実績 延 11,230時間 ○同行援護 ・利用者数 523人 ・利用実績 延 145,327時間
グループホーム訓練等 給付費等	3,896,553	○グループホームに入居している障がい者に、主に夜間において、相談、入浴等必要な日常生活上の援助を実施	○共同生活援助 ・利用者数 1,915人 ・利用実績 延 624,273日
障がい者グループホーム 設置促進等事業	119,553	○グループホーム等の施設整備・開設経費等を補助 ○「障がい者グループホーム開設応援サイト」の活用等により、グループホーム設置を促進	○施設整備費等補助 43件



事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	令和4年度の成果、効果等
☆ 重度障がい者グループ ホーム受入促進事業	49,595	○グループホームにおける重度障がい者の受入れに対し、生活支援員等の職員加配費用相当分を補助	○重度障がい者グループホーム 運営費 補助 88人
障がい者施設介護給付費	21,511,295	<p>○療養介護 ・医療機関において、療養上の管理、看護や介護などを実施</p> <p>○施設入所支援 ・施設に入所している障がい者に、夜間や休日において、入浴や食事の介護などを実施</p> <p>○生活介護 ・日中の入浴や食事等の介護や創作的活動等の機会の提供を実施</p> <p>○自立訓練 ・身体機能または生活能力向上のために必要な訓練を実施</p> <p>○就労移行支援 ・一般企業等への就労を希望する障がい者に、必要な訓練を実施</p> <p>○就労継続支援 ・一般企業等での就労が困難な障がい者に、働く場を提供するとともに、必要な訓練を実施</p> <p>○就労定着支援 ・一般企業等へ就労した障がい者の就労継続を図るための支援を実施</p>	<p>○療養介護 ・利用者数 223人 ・利用実績 延 81,410日</p> <p>○施設入所支援 ・利用者数 1,233人 ・利用実績 延 446,663日</p> <p>○生活介護 ・利用者数 3,246人 ・利用実績 延 702,062日</p> <p>○自立訓練 ・利用者数 419人 ・利用実績 延 65,243日</p> <p>○就労移行支援 ・利用者数 792人 ・利用実績 延 169,747日</p> <p>○就労継続支援 ・利用者数 4,530人 ・利用実績 延 934,739日</p> <p>○就労定着支援 ・利用者数 235人 ・利用実績 延 3,336日</p>

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	令和4年度の成果、効果等
強度行動障がい者支援事業	52,237	<p>○支援研修事業 ・事業所職員、特別支援学校教員等を対象に、講義・実習等の研修を実施</p> <p>○共同支援事業 ・事業所職員による共同支援を実施</p> <p>○集中支援事業 ・24時間体制でマンツーマンによる集中支援を行うことにより、行動問題の分析、支援計画の作成、行動問題の軽減を図る支援拠点「障がい者地域生活・行動支援センターか〜む」を運営</p>	<p>○支援研修事業 ・研修日数 4日間 ・講義受講者 6人</p> <p>○共同支援事業 ・共同支援（日中） 50件 ・共同支援（宿泊） 1件</p> <p>○集中支援事業 ・か〜むでの集中支援 3人 （うち、か〜むからの移行 1人）</p>
☆ 障がい者の地域生活支援機能強化等	745,632	<p>○障がい者の地域生活支援機能強化事業 ・緊急時の受入れ拠点の整備や医療的ケアが必要な重度障がい者への支援等を実施</p> <p>○障がい者虐待防止・基幹相談支援センター事業 ・障がい者の虐待防止及び地域生活に関する相談支援の中核的機能を一体的に併せ持つ市障がい者基幹相談支援センター（虐待防止センター）を1か所設置し、障がい者の相談支援体制を充実 ・全障がい一元化した区障がい者基幹相談支援センターを全14か所設置。障がい児・者の生活全般に関する相談対応や緊急時の24時間相談対応及び障がい者の社会的孤立防止支援等地域福祉の基盤づくりに関する取組みを実施</p>	<p>○障がい者の地域生活支援機能強化事業 ・緊急時の受入れ・対応事業所設置数 3箇所 （重度身体障がい（医療的ケアを含む）、強度行動障がい、虐待その他緊急対応）</p> <p>○区障がい者基幹相談支援センター事業 ・相談対応件数 89,266件 ・コーディネーターを59人から82人に増員し、相談支援体制を強化</p> <p>○障がい者虐待防止・基幹相談支援センター事業 ・センター数 1箇所 ・虐待通報件数 115件 ・事実確認件数 108件 ・虐待と判断した件数 33件 ・区障がい者基幹相談支援センターへの訪問による支援（スーパーバイズ）件数 82件</p>

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	令和4年度の成果、効果等
コミュニケーション支援事業	50,505	<p>○聴覚障がい者支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚障がい者の各種相談対応や窓口業務における手話通訳等を行う</li> <li>・手話通訳者を全ての区に配置</li> <li>・聴覚障がい者情報センターの運営</li> <li>・手話通訳者、要約筆記者等の養成、派遣を実施</li> </ul> <p>○重度障がい者入院時コミュニケーション支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅重度障がい者の入院時における医療従事者との意思疎通の円滑化を図るためのコミュニケーション支援員を派遣</li> </ul>	<p>○聴覚障がい者支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数 延 4,687件</li> <li>・手話通訳者派遣 延 2,456件</li> <li>・要約筆記者派遣 延 227件</li> <li>・盲ろう者通訳・介助員派遣 延 274件</li> <li>・養成講座受講者数 延 226人</li> </ul>
★ タブレット活用による障がい者サービス向上事業	2,853	【新規】	<p>○ビデオ通話を利用したオンライン手話通訳開始</p> <p>○障がい者窓口へコミュニケーション支援アプリを搭載したタブレット配置</p>
☆ 地域生活支援事業	852,470	<p>○日常生活用具</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅の障がい児・者が日常生活を円滑に行うための用具の給付を実施</li> </ul> <p>○移動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人で外出が困難な障がい児・者の目的地までの移動の介護を実施</li> </ul> <p>○日中一時支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護者が一時的に介護できない場合に、日帰りでの援助を実施</li> </ul>	<p>○日常生活用具</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給付件数 延 27,315件</li> </ul> <p>○移動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数 1,188人</li> <li>・利用実績 延 161,587時間</li> </ul> <p>○日中一時支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数 310人</li> <li>・利用実績 延 9,972回</li> </ul>
重度障がい者入浴サービス	60,834	<p>○家庭での入浴が困難な重度身体障がい者に移動入浴車を派遣(上限年間78回)</p>	<p>○登録者数 109人</p> <p>○利用実績 延 4,673回</p>
重度障がい者等就労支援事業	9,558	<p>○令和3年10月から重度障がい者等の就業中のトイレ、食事、通勤等の介助を実施</p>	<p>○相談対応件数 4件</p>

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	令和4年度の成果、効果等
福祉手当等	865,863	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別障がい者手当等</li> <li>・重度の障がいがある20歳以上の人に対し、特別障がい者手当を支給</li> <li>○市の福祉手当</li> <li>・重度の心身障がい者に対し、福祉手当を支給</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別障がい者手当等</li> <li>・受給者数 延 17,251人</li> <li>○市の福祉手当</li> <li>・受給者数 延 19,848人</li> </ul>
公共交通機関費用助成	290,421	<ul style="list-style-type: none"> <li>○障がい者に地下鉄・バス・電車・タクシー等の料金を助成する「福祉乗車券」、「福祉乗車証」を交付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交付者数 17,312人</li> </ul>
福祉啓発事業	7,186	<ul style="list-style-type: none"> <li>○福祉啓発</li> <li>・障がい者週間記念事業</li> <li>12月3～9日の「障害者週間」に併せて、啓発イベント「障がい者週間記念の集い」を実施</li> <li>・補助犬啓発事業</li> <li>小・中学校等での出前講座や市民向け啓発イベントなどを実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○福祉啓発</li> <li>・障がい者週間記念事業を実施</li> <li>障がい者週間記念の集い 1回</li> <li>・補助犬啓発事業を実施</li> <li>小・中学校等での出前講座 18回</li> <li>市民向け啓発イベント 1回</li> </ul>
障がい者工賃向上関連経費	17,487	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ときめきプロジェクト</li> <li>・障がい者施設商品の広報やアート作品の紹介を通して障がいに関する理解促進を図るとともに、障がい者施設の工賃向上に向けた取組みを推進</li> <li>○ときめきグッズ受注・発注コーディネート事業</li> <li>・障がい者施設商品の品揃えや納期などの情報を整理・集約して発注側（福岡市・企業等）に提供するとともに、仲介（コーディネート）することにより、受注・発注機会の拡大と販売を促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○区役所等庁舎での販売額 4,312千円</li> <li>○窓口でのコーディネート件数 107件</li> </ul>

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	令和4年度の成果、効果等
★ 障がい者施設工賃向上 支援事業	33,802	【新規】	<p>○障がい者施設のワンストップ支援窓口として、令和4年10月に設置した障がい者工賃向上支援センターにおいて、企業への業務開拓や障がい者施設への受注支援などを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援センターの受注実績 15,679千円</li> <li>・施設への伴走型コンサルティング 22施設</li> <li>・工賃向上オンラインセミナー 参加施設数 21施設 参加人数 延 110人</li> <li>・マーケット 出店施設 16施設 売上 432千円（1日）</li> </ul>
障がい者就労支援 センター運営等経費	158,653	○就職を希望する障がい者への個別支援や、就労移行支援事業所等への支援、企業への啓発・助言を実施	<p>○障がい者の就職件数 48件</p> <p>○障がい者雇用に関する企業セミナーへの参加企業数 178社</p> <p>○事業所等への技術的支援 41事業所</p>
発達障がい者支援等 施設整備事業	276,854	<p>○平成29年度に策定した基本構想に基づき、専門家、関係団体等の意見も踏まえ、平成30年度に「福岡市発達障がい者支援・障がい者就労支援センター（仮称）」の基本計画を策定</p> <p>○令和元年度に「発達障がい者支援・障がい者就労支援等センター（仮称）」の基本設計を実施し、令和2年度に実施設計を実施</p> <p>○令和3年度に施設の建設工事に着手</p>	○令和5年度の早期開設を目指し、令和3年12月から行っている工事を引き続き実施
視覚・聴覚障がい者への 情報提供についての調査 検討	881	○音声コードの普及促進のためのチラシを作成し、周知等を実施	○視覚障がい者への情報提供に効果的な手段である音声コードについて、周知啓発のための動画（市民向け・企業向け）を作成し公開

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	令和4年度の成果、効果等
新型コロナウイルス感染症対策（障がい）	396,512	<p>○感染者等が発生した場合の衛生用品や消毒に要する費用など必要な経費を障がい福祉サービス事業所等に支援</p> <p>○障がい者支援施設等において新型コロナウイルス感染者の介護等を行った従事者に対する支援を実施（感染者1人あたり15万円）</p> <p>○介護者が感染し入院した場合等に、自宅に残された要介護の濃厚接触者等の介護を行った事業者の従事者に対する支援を実施（要介護者1人あたり15万円）</p> <p>○障がい福祉サービス事業所等の従事者、新規入所者に対し無料で検査を実施</p>	<p>○障がい福祉サービス継続支援事業</p> <p>・交付申請件数 41件</p> <p>・支給金額 4,765千円</p> <p>○新型コロナウイルス感染者等支援体制確保事業（入所）</p> <p>・交付申請件数 301人分</p> <p>・支給金額 41,130千円</p> <p>○新型コロナウイルス感染者等支援体制確保事業（訪問）</p> <p>・交付申請件数 75人分</p> <p>・支給金額 5,150千円</p> <p>○介護施設等従事者検査事業（障がい）</p> <p>・検査実施事業所数 延 700事業所</p> <p>・検査件数 延 258,621件</p>
★ 障がい者福祉避難所運営体制強化事業	8,653	【新規】	○障がい者福祉避難所における非常用電源や備蓄物資の充実など運営体制を強化
その他の経費			
・更生医療	4,010,590		
・計画相談支援事業	621,881		
・フレンドホーム生活介護	377,213		
・その他事業費	2,379,227		

**3 生活の安定の確保など**

**115,381,278 千円  
( 93,502,904 千円)**

生活保護については、稼働可能世帯へのきめ細かな就労支援など、一人ひとりの状況に応じた自立支援を推進するとともに、被保護高齢者訪問・サポート強化事業により、高齢者世帯の在宅生活を支援した。

また、生活困窮者自立支援制度に基づき、生活困窮者やホームレスの自立支援を促進した。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	令和4年度の成果、効果等
生活困窮者自立支援法 関連経費	2,673,541	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活困窮者本人の状態に応じた包括的かつ継続的な支援等を実施し、支援対象者の自立を促進</li> <li>・自立相談支援事業</li> <li>・住居確保給付金の支給</li> <li>・子どもの学習・生活支援事業</li> <li>・就労準備支援事業</li> <li>・一時生活支援事業（ホームレス自立支援事業）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自立相談支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援対象者数 1,476人</li> <li>・うち就労達成者数 157人</li> </ul> </li> <li>○住居確保給付金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規支給決定者数 852人</li> </ul> </li> <li>○子どもの健全育成支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援人数 340世帯 1,114人</li> <li>・学習支援人数 28人</li> </ul> </li> <li>○就労準備支援事業利用者数 2人</li> <li>○生活困窮者自立支援金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・支給決定件数 7,262件</li> </ul> </li> <li>○ホームレス自立者数 460人</li> </ul>
生活保護自立支援 プログラム経費	294,340	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な課題を抱える被保護世帯に対し、課題に応じたきめ細やかで多様な支援を実施し、自立を助長</li> <li>・就労支援</li> <li>・在宅精神障がい者支援</li> <li>・居住の安定確保支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○就労支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労達成者数 989人</li> </ul> </li> <li>○在宅精神障がい者支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援者数 335世帯 495人</li> </ul> </li> <li>○居住の安定確保支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援者数 182人</li> </ul> </li> </ul>
生活保護受給者への適正 受診指導等の強化	19,499	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活保護のレセプト<sup>※6</sup>データを分析のうえ、保護受給者への適正受診指導、健診受診勧奨、保健指導等を実施するとともに、お薬手帳の活用を促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健診受診勧奨 <ul style="list-style-type: none"> <li>・健診受診者数 386人</li> </ul> </li> <li>○適正受診指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施者数 201人</li> </ul> </li> <li>○糖尿病等の重症化予防のための保健指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数 60人</li> </ul> </li> <li>○生活習慣改善のための保健指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数 40人</li> </ul> </li> </ul>

※6 レセプト：患者が受けた保険診療について、医療機関が保険者に請求する診療報酬の明細書

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	令和4年度の成果、効果等
被保護高齢者訪問・サポート強化事業	119,950	○生活保護を受給する高齢者世帯への訪問活動、見守り等を強化し、在宅生活を支援	○被保護高齢者宅の訪問、電話、来所対応等により、福祉サービス、医療・介護制度の活用や生活面での助言を実施 ・支援世帯数 3,262世帯 ・訪問 7,365件 ・電話 3,625件 ・来所 1,599件 ・生活状況等の把握、相談対応等 38,265件
包括的な支援体制の構築に向けた多機関協働モデル事業	29,994	○複雑化・複合化した個々人の課題への対応に向け、支援員のモデル配置や多機関協働に向けた取組みを実施	○多機関協働の促進に向けた研修会を実施 ・参加者数等 計1回、36人 ○各分野の相談支援機関と連携しながら、伴走支援を始めとした個別支援をモデル実施したほか、企業等に向けたセミナーを開催 ・相談対応件数 延 519件 ・セミナー参加 20社
やすらかパック事業等終活関連事業への支援	16,427	○身寄りがない高齢者等と社会福祉協議会との事前契約により、葬儀や家財処分などを行う事業に対する支援を実施	○やすらかパック事業等実施状況 ・相談件数 752件 ・契約件数 125件
非課税世帯等臨時特別給付金	17,235,392	○住民税非課税世帯等を対象に、1世帯あたり10万円を支給	○支給世帯数 178,423世帯



事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	令和4年度の成果、効果等
電力・ガス・食料品等価格 高騰緊急支援給付金	11,140,608	【新規】	○住民税非課税世帯等に対して、 1世帯あたり5万円を支給  ○支給世帯数 208,279世帯
<b>その他の経費</b>			
【一般会計】			
・生活保護費	75,166,577		
・災害救助費	11,850		
・その他事業費	7,287,373		
【介護保険事業特別会計】			
・その他事業費	1,385,727		

令和4年度決算額  
(前年度決算額)

893,662千円  
( 841,210千円)

施策2-3 支え合いや助け合いによる地域福祉の推進

1 見守り・支え合いの仕組みづくり

893,662千円  
( 841,210千円)

高齢者や障がいのある人をはじめ、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう、地域で支える仕組みづくりを促進した。また、自治会・町内会等の地域組織や民生委員等が連携した、地域の特性に応じた見守り等のネットワークの形成を支援した。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	令和4年度の成果、効果等
見守り推進プロジェクト	20,105	○地域や事業者からの通報に365日対応する見守りダイヤルの設置や、孤立死防止を目的とした出張講座等を実施	○見守りダイヤル ・通報件数 305件 (うち救命等33件、死亡確認39件、生存等確認233件) ・相談・問い合わせ等件数 209件 ○出張講座 29件
一般会計	4,212		
介護保険事業特別会計	15,893		
民生委員	328,910	○民生委員法に基づき、地域の見守り活動等を行っている民生委員・児童委員の活動を支援  ○民生委員・児童委員の活動しやすい環境づくりを推進 ・活動費の増額 ・欠員地区をフォローする民生委員への活動費の別途支給 ・民生委員の研修等にかかる費用負担の支援などを実施	○民生委員・児童委員の活動の支援とともに、活動しやすい環境づくりや負担軽減を実施 ・委員数：2,348人 (令和4年度末現在) ・委員一人当たりの平均活動日数：153日/年
その他の経費 【一般会計】			
・社会福祉協議会補助金	487,497		
・地域での支え合い活動支援経費	50,277		
・その他事業費	148		
【介護保険事業特別会計】			
・ふれあいサロン	6,725		

